

2003年度 NPO/NGO 環境行政改革フォーラム 年次総会（政策提言大会）<http://eforum.jp/>

開催テーマ「観客民主主義」から「主体的市民」へ

開催日時：2003年10月11日（土）～12日（日）

会場：早稲田大学理工学部大久保キャンパス第57号館（全体会議）、52号館（4分科会）

参加費：会員無料、非会員1000円、毎年約150頁の予稿集がきます。

環境行政改革フォーラム（通称、E-forum）

総会は、会員、非会員を問わずどなたでもご参加頂けます。昨年は慶應義塾大学湘南藤沢キャンパスで開催しました。今年は早稲田大学理工学部、大久保キャンパス（東京都新宿区）で開催します。

開催テーマ：日本社会が行政、立法、司法などさまざまな領域で機能不全に陥っていることは確かです。この場合、官僚、政治家などを非難することは容易です。しかし、日本社会を本質的に変革するためには、私たち国民、市民がいわば「観客民主主義」から「主体的市民」に変わらなければなりません。観客席から降り、評論家としてではなく主体的にものを考え行動する、人間として当たり前のことをすることが問われているのです。今こそ、「小異をもちつつ、大同につき」社会変革に向け、行動する必要があります。

環境行政改革フォーラム年次総会開催プログラム（案）

10月11日（土）

午後0時30分 受付開始 早稲田大学理工学部57号館2階

午後1時00分～午後1時05分

主催者挨拶

青山 貞一（武蔵工業大学環境情報学部教授、環境行政改革フォーラム代表幹事）

< 記念講演 >

午後1時05分～午後1時35分

記念講演「情報公開法改正に向けて」

鶴岡 憲一（読売新聞社編集委員、環境行政改革フォーラム公共政策研究会）

午後1時35分～午後2時05分

記念講演「リスク削減と市民参加、～アスベストを事例として～」

村山 武彦（早稲田大学理工学部複合領域教授、環境行政改革フォーラム幹事）

午後2時05分～午後2時35分

記念講演「藤前干潟の保全とあたらしい課題」

辻 淳夫（藤前干潟を守る会代表、環境行政改革フォーラム幹事）

< 一般発表 > 発表テーマ及び発表者一覧（詳細は別頁参照）

午後2時45分～午後5時45分

分科会会場：52号館、101、102、103、104教室

（口頭研究発表、ポスター発表、政策提言、市民活動報告） 全体で35本：発表内容一覧は別途

分科会1 一般発表（公共事業と環境政策） 52号館101教室

座長：政野 淳子（ジャーナリスト）、鷹取 敦（法政大学）

分科会2 一般発表（廃棄物と環境政策） 52号館102教室

座長：村山武彦（早稲田大学）、市野 和夫（愛知大学）

分科会3 一般発表（食の安全、有害化学物質リスク） 52号館103教室

座長：松本 基督（環境NGO）、山本 茂雄（環境NGO）

分科会4 一般発表（環境教育、司法制度改革、その他） 52号館104教室

座長：藤森 修一（一新塾OB）、牛島 聡美（弁護士）

10月12日(日) 会場は終日 早稲田大学理工学部57号館2階

午前9時～午前10時30分

<特別セッション1> R D F 発電・ガス化溶融炉事故の本質的原因を究明する!

問題提起と討議: 全国各地で頻発する死傷者を伴う大事故につき、その原因を地元関係者、NGO、研究者らの問題提起をもとに議論する。

討議予定者: 津川(全国)、市野(豊橋)、落合(福山)、江川(大牟田)、長谷川(宇都宮)、鷹取(大牟田)ら、司会は青山貞一

午前10時30～午前12時30分

<特別セッション2> 地方分権と環境政策、廃棄物政策について!

地方分権下でゼロウエイトと真の循環型社会に向かうカナダ・ノバスコシア州及びハリファックス広域自治体廃棄物資源化戦略現地調査団報告

ポイント～地方分権と徹底した立法、条例措置による政策コントロール～

～市民、企業のステューワードシップによる排出責任の明確化と抑制抑制～

～不法投棄、焼却、埋め立てへの厳しい規制・罰則～

～生ゴミ堆肥化と紙リサイクル、容器リサイクルによる脱焼却の実現～

～全州的デポジット制の導入など経済的誘導措置～

日本社会への適用条件についての政策提言

この間の経緯、訪問先機関、交流・議論の概要 池田こみち(副団長)

現地撮影ビデオ上映:(撮影、平野 一新塾第12期生)

現地調査報告(在日カナダ大使館国際シンポ以降を中心に)青山 貞一(団長)

団員コメント(とかしき、相川、平野、水野、市野)各5分を予定

質疑、討論 司会:池田こみち「ゼロ・ウエイトに向けて、脱焼却、脱埋立をどう実現するか」

午後1時30分～午後5時30分

<問題提起> 地方分権と公共事業、環境政策

環境行政改革フォーラム 公共政策研究会

からの問題提起 各20分、1時間を予定

「官僚社会主義」と「観客民主主義」からの同時脱出

青山 貞一(武蔵工業大学環境情報学部 教授、環境総合研究所所長、
環境行政改革フォーラム代表幹事、政策学校「一新塾」代表理事)

「日本型公共事業」からの脱却(仮題)

鶴岡 憲一(環境行政改革フォーラム公共政策研究会委員)

「立法府による行政コントロールと新たな司法の役割について(仮題)

福井 秀夫(政策研究大学院大学 教授、環境行政改革フォーラム幹事)

<パネル討議> 2時間を予定

討論テーマ、キーワード

(多くは青山、鶴岡、福井の問題提起の中であらかじめ開陳)

・「国民が変わらずして日本社会は変わりえない」

・「観客民主主義」から「主体的市民」へ

・「主体的市民」の必需品としての情報公開制度の改革

・「官僚社会主義」からの脱却

・「日本型公共事業システム」をどう変えなければならないか

・「政官業」利権構造、現状追認の「政官業学報」からいかに脱却するか

・「立法改革・司法改革」の本質的中身はどうあるべきか?

・「権限、財源、税源」の地方移譲と、問われる地方の政策能力と経営能力

・「長野モデル」にみる主体的自治、主体的市民の実像

・「カナダ・ノバスコシア州」にみる連邦制、地方分権であるが故に可能な環境政策の実例

・「政権交代」で何をどうかえるのか?

・「政権交代」で「地方分権」は可能か?

・「マニフェスト」の国民的検証

討議参加予定者: 国会議員 佐藤謙一郎衆議院議員・武山百合子衆議院議員・福山哲郎参議院議員

環境行政改革フォーラム 青山 貞一、鶴岡 憲一、福井 秀夫、池田こみち

<フロアとの質疑、交流> 1時間を予定

午後5時30分 閉会挨拶 村山 武彦(早稲田大学理工学部教授)

分科会発表テーマ及び発表者一覧

第一分科会 公共事業と環境政策
座長：政野 淳子(ジャーナリスト)、
鷹取 敦(法政大学)

公共政策課題のマッピング
政野淳子(フリージャーナリスト)

道路交通騒音予測モデルの実測調査による検証の必要性について～八王子市裏高尾地域における市民参加の騒音調査を通じて～
鷹取 敦(環境総合研究所)

山間部における道路交通騒音影響の課題～八王子市裏高尾地域における実測調査・モデルによる検証～
鷹取 敦(環境総合研究所)

諫早湾の現況と展望
大島 弘三(諫早干潟緊急救済本部)

米軍基地建設による野生生物への脅威
花輪伸一(WWF ジャパン)

ハコモノ有効利用現場視察報告～年金保養施設の考察
森嶋伸夫(一新塾)

地方分権の時代に向けて～国営事業計画についてのケーススタディ～「川辺川ダム」と「国営川辺川総合土地改良事業」にみる熊本県の役割～
高橋ユリカ(ジャーナリスト)

新石垣空港問題の現状 環境アセスメントの動きを中心に
鷲尾 雅久

第二分科会 廃棄物と環境政策
座長：村山武彦(早稲田大学)、
市野 和夫(愛知大学)

松葉による大気中ダイオキシン濃度測定調査 最新年度報告
池田こみち(環境総合研究所)

八千代市の泰成エンジニアリング事件とごみ焼却炉の運転委託
小倉昌子(みどりの会議)、成田豊太

(オンブズパーソン・東村山)
青木泰(NPO法人ごみ問題5誌連絡会)

豊橋市のキルン型ガス化熔融焼却炉の運転状況
市野和夫(愛知大学)

焼却炉の解体とダイオキシン汚染報告者：川井満・中島大介・青木泰(NPO法人ごみ問題5誌連絡会)

静岡市吉津における灰野積みの問題(経過)
恩田侑布子(環境NPO)

静岡市吉津における灰野積みの問題(課題)
恩田侑布子(環境NPO)

「脱焼却」のための具体的戦略(生ゴミ堆肥化)～具体事例(日本、カナダ)にみる現状と課題～
青山 貞一(武蔵工業大学)

日本の「焼却主義」の実態把握(焼却炉・熔融炉)～統計分析及び事例分析によるその実態把握～
青山 貞一(武蔵工業大学)

第三分科会 食の安全、有害化学物質と健康リスク
座長：松本 基督(環境NGO)、
山本 茂雄(環境NGO)

都田川(浜名湖源流)産ヤマトジミによる佐鳴湖機能回復プロジェクト～その経過報告と意義～
山本茂雄(アジアの浅瀬と干潟を守る会)

ホルマリンで海を汚すな！～養殖魚のホルマリン使用問題～
松本基督(天草の海からホルマリンをなくす会事務局)

ムラサキイガイによる全国16地点比較分析結果報告
池田こみち(環境総合研究所)

チッソ水俣病関西訴訟について

～行政責任論・水俣病像論について
新展開～
久保田好生(東京・水俣病を告発する会)

練馬区の小中学校における吹き付けアスベスト問題の経緯
報告者：村山武彦(早稲田大学)

ゴミのゆくえを確かめる 清掃工場・処分場見学記
山岸大高(中学校1年生・フリー・ザ・チルドレン・ジャパン)

ダイオキシンー神話の終焉本批判
青木泰他(NPO法人ごみ問題五市連絡会)

循環型社会形成のために必要な古物行政の課題について～パソコンの再商品化を事例として～
吉田 央(東京農工大学)

ポスター：杉並病の調査結果の解読
津谷裕子(杉並病裁判原告予定団、化学物質による大気汚染を考える会)

第四分科会 教育、司法制度改革
座長：藤森 修一(一新塾OB)、
牛島 聡美(弁護士)

これでいいのか！学校教育 観客民主主義から脱却し主体的市民になるために
山岸大高(中学校1年生・フリー・ザ・チルドレン・ジャパン)

チャータースクール利用による教育規制緩和策、地方分権推進法案の提言
藤森修一

出前授業活動を通じて「水俣」の意味を考える
田嶋いづみ(「水俣」を子どもたちに伝えるネットワーク 代表)

なぜ「せっけんのいらぬいふきん」か
本田量子(NPO 法人ガラ紡愛好会)
弁護士報酬の敗訴者負担～日本の

議論、海外制度、環境訴訟への影響
牛島聡美（日本弁護士連合会 司法
改革調査室 嘱託弁護士、環NGO）

その推進 / 評価システム
一新塾 11 期：松本康裕、高野、岡野、
三輪、野口、津田（アドバイザー）
（発表者は三輪 一貴の予定）

田中克明（一新塾）
活環境における電磁波問題の現状～
電磁波問題市民研究会の活動から～
報告者：野村修身

生活者によるマニフェスト作成と

ゼロエミッション交通システム

開催場所

早稲田大学 理工学部 / 大学院理工学研究科大久保キャンパスの住所
〒169-8555東京都新宿区大久保3-4-1 Tel 03-5286-3000

最寄駅及びキャンパスまでの道順

最寄りの駅（JR山手線、高田馬場）から理工学部大久保キャンパスまでの道順

その他以下のルートが可能です。

・JR - 高田馬場駅 戸山口下車 徒歩10分 地下鉄東西線 - 高田馬場駅 下車 徒歩12分

・西武新宿線 - 高田馬場駅 下車 徒歩12分 ・JR - 新大久保駅 下車 徒歩10分

都バス - 都立障害者センター前 下車 徒歩1分

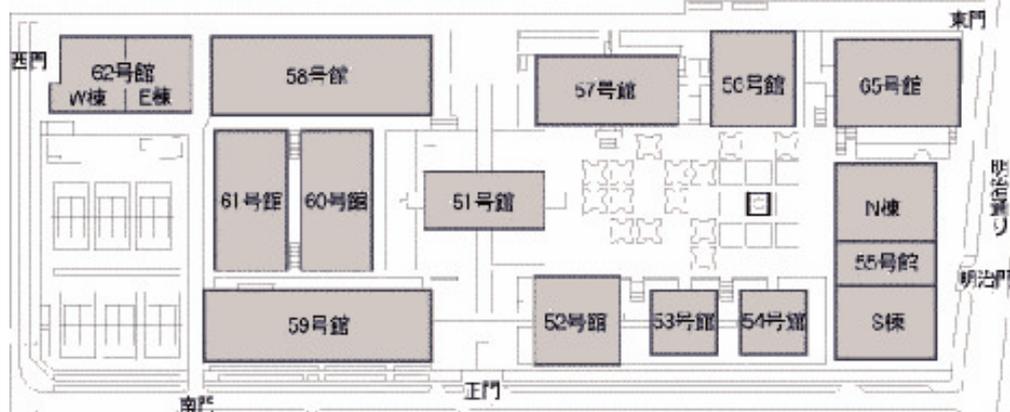
（高71）高田馬場駅 - 九段下行き （池86）池袋駅東口 - 渋谷駅行き

（早77）新宿駅西口 - 早稲田 行き



早稲田大学理工学部大久保キャンパスマップ

全体会議など中心となる会場は52号館。分科会会場は52号館（101,102,103,104）



環境行政改革フォーラム早稲田大学理工学部総会実行事務局

環境行政改革フォーラム事務局 青山貞一、池田こみち、鷹取 敦

Tel 03-5759-1690 Fax 03-5759-1890

E-mail: aoyama@eritokyo.jp ikeda@eritokyo.jp takatori@eritokyo.jp

早稲田大学理工学部複合領域 村山武彦教授

Tel/Fax. 03-5286-3502 E-mail: tmura@waseda.jp